

Ver.5.26 バージョンアップ情報 (2024/07)

LandForms シリーズ(Ver.5.26)の主な変更点は以下のとおりです。

詳細は各ページをご参照ください。

新機能・新要素

指定範囲の面積計算

(p1)

横断計画の
LandXML インポート

(p2)

主な機能追加・変更点・修正点

一括編集時
ベクトル端点・線上・交点
を指定可能

(p3)

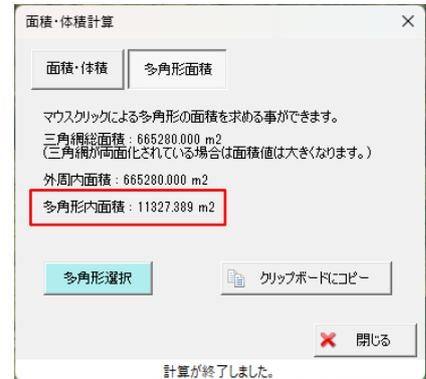
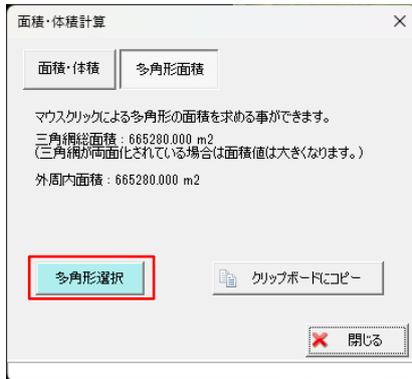
簡易断面の点数の上限・
抽出幅の初期値を変更

(p6)

その他 表示変更・
不具合修正

新機能・新要素

- 指定範囲の面積を算出（「三角網」メニュー>「面積・体積計算」>「水平面積・表面積・体積計算」）
指定した範囲内のみ面積を算出できるようになりました。

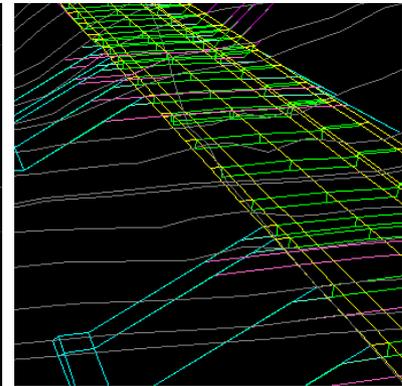
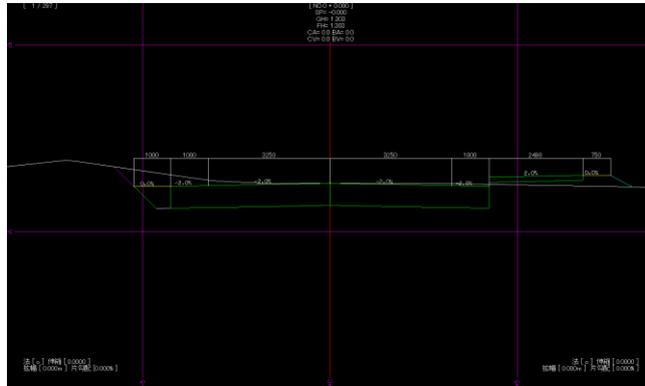
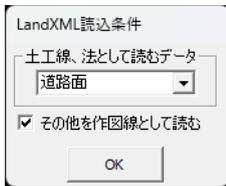


● 横断計画で LandXML 読み込みに対応 (「ファイル」メニュー→「LandXML 読み込み」)

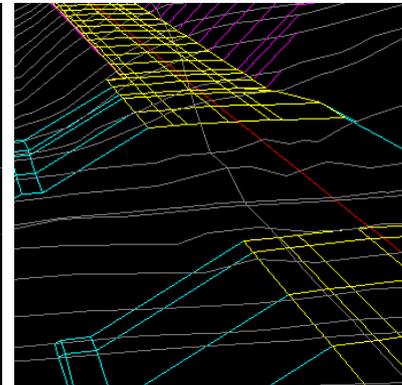
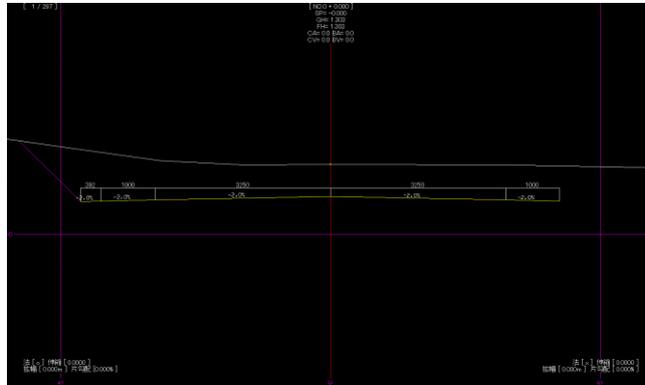
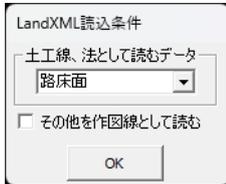
横断計画で LandXML ファイルが読み込めるようになりました。

複数層のデータがある場合の読み込み例

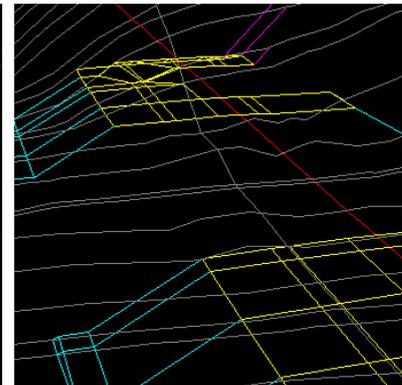
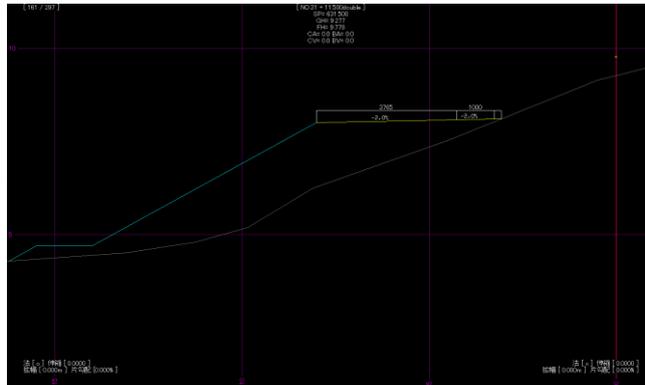
・道路面、その他作図線を読み込む場合



・路床面を読み込む場合



・路体面を読み込む場合



追加・変更・修正

追加

- 一括編集の多角形選択でベクトル端点・線上・交点の指定に対応（「地形」ボタン>「一括編集」ボタン）
一括編集の多角形選択でベクトル端点・線上・交点を指定して頂点の作成が可能となりました。



例：赤丸の位置の場合

クリックのみ：

クリックした場所に多角形の頂点を作成

Shift+クリック：

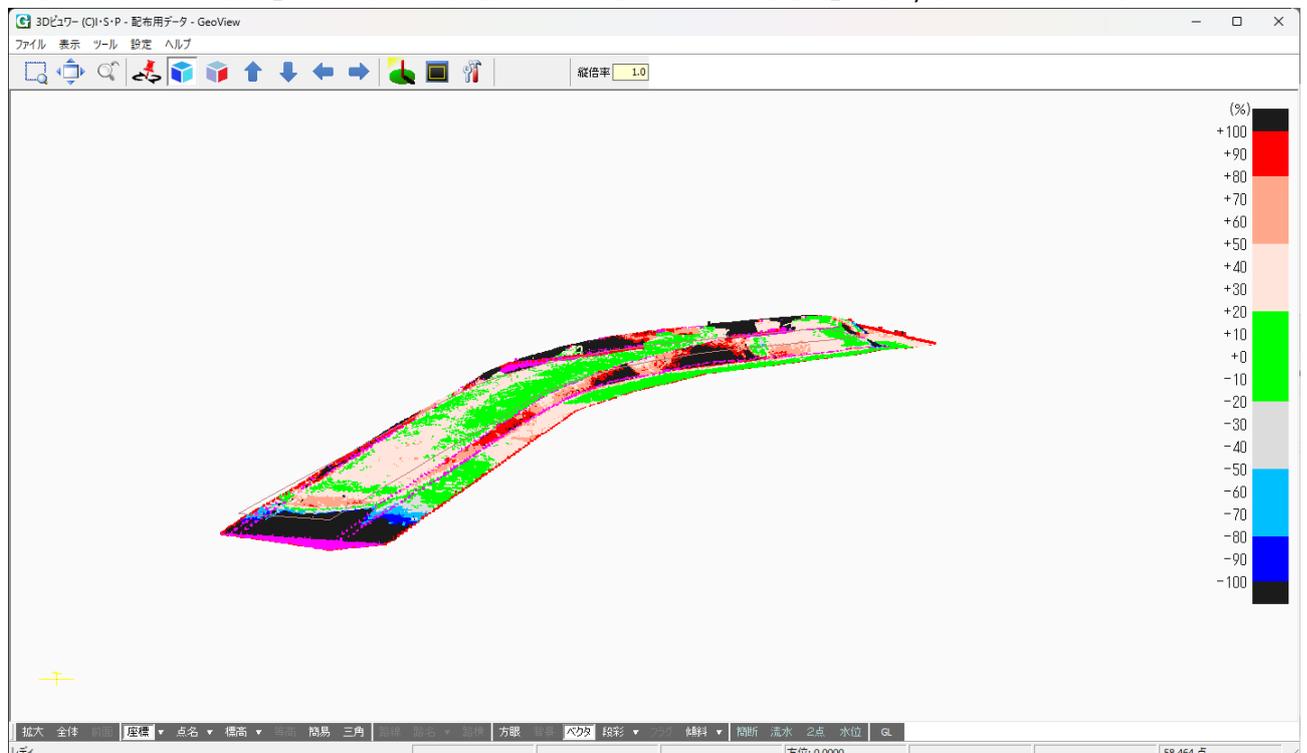
最寄りのランダム点、ベクトル端点・交点・線上を多角形の頂点として指定

- GeoView での出来形凡例表示機能追加

出来形機能から出力した GeoView データで凡例表示ができるようになりました。



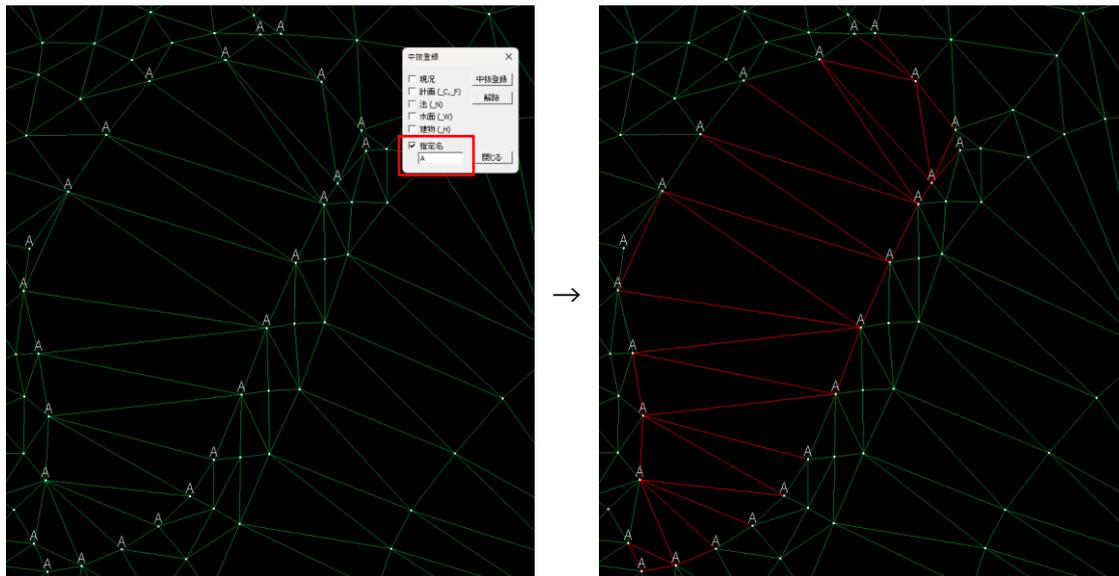
下部ツールバーの「段彩」右横のプルダウンをクリックすると、「出来形色凡例」の ON/OFF が可能です。



※凡例表示中は段彩表示ができません。また座標が非表示の場合は、凡例表示選択と同時に表示されます。

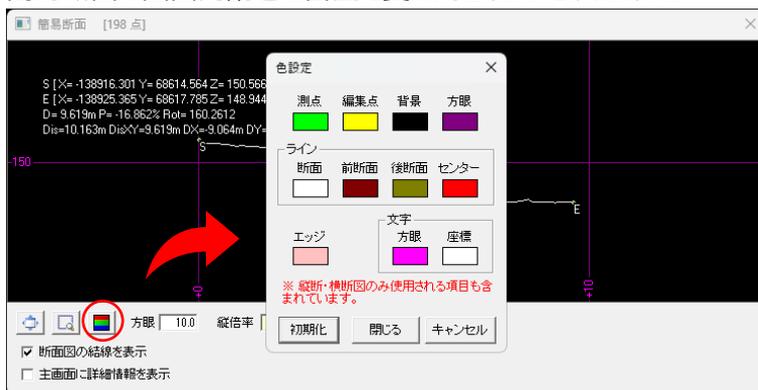
● 任意の点名を指定した中抜登録（「地形」ボタン>「中抜登録」ボタン）

任意の点名を指定して中抜登録ができるようになりました。



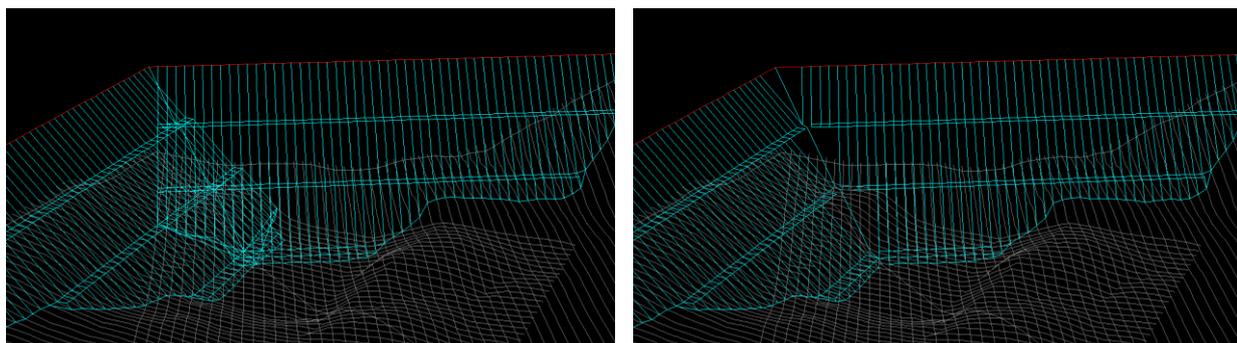
● 簡易断面の色設定機能（「地形」ボタン>「簡易断面」ボタン）

簡易断面の画面内配色を自由に変更できるようになりました。



● 横断計画に計画線交差判定機能を追加（横断計画>「断面」メニュー>「計画線交差判定」）

定規図（土工線、作図線）と法線の横断ごとの交差を判定し、交差部分を削除する機能ができました。



交差判定前

交差判定後

- **UTF-8 の DXF 読み込みに対応** (GeoForm、横断計画)
- **ビデオ鳥瞰**
 - ・ 「オブジェクト設定」ボタン> 表示リストの右クリックメニュー
「Z 値再計算」機能を追加
地形の変化に合わせて、オブジェクトが接地するように Z 値を再計算します。
 - ・ 方位表示追加
- **横断計画**
 - ・ 「ファイル」メニュー> 「LandXML 出力」
現況横断のセンター標高値の出力に対応
 - ・ 「法一覧」ボタン
「固定」「延長」「解除」「交点再計算」時に全断面一括指定できる機能を追加
- **メッシュグラフ**
 - ・ ステータスバーに全体の切土・盛土および追加の切土・盛土を表示
- **縦断図**
 - ・ 「パラ読み込」ボタン
他の断面データのパラメータファイルを読み込む際、縮尺等の情報を読み込む機能を追加
- **座標変換**
 - ・ 国土地理院の標高用パラメータファイルに対応
- **ビデオ鳥瞰ビュー**
 - ・ 「ファイル」メニュー> 「画面を保存」
表示中画面の内容を BMP ファイルもしくは JPEG ファイルとして保存する機能を追加
 - ・ 方位表示追加

変更

● GeoForm

- ・ 「地形」ボタン>「簡易断面」
点数の上限を 50 万点に変更
抽出幅の初期値を 0.1 に変更
- ・ 「点編集」メニュー>「重複点削除・領域編集」
回転中心の X、Y 座標の小数桁表示を 3 桁から 4 桁へ変更
- ・ 「ファイル」メニュー>「ランダムデータ外部出力」>「SIMA 出力」
点数制限を解除 ※「固有点名を付けて出力」にチェックがある場合は 99999 点の制限有り
- ・ サンプル断面の標高桁を「設定」の「標高値小数桁」と同期するよう変更

● ビデオ鳥瞰

- ・ 配布用データセットのファイルを読み込む際、plan フォルダ内に RND ファイルが一つだけある場合は、同時に読み込むよう変更
- ・ 「オブジェクト設定」ボタン
方位角・上下角・左右角の小数桁を 3 桁に変更
- ・ 読み込みテキストチャ数を最大 32 個に変更

● 横断計画

- ・ 「ファイル」メニュー>「ランダムデータ出力」「3D-DXF 出力」
立体表示時に法が現況線に到達していない断面区間の法尻は、作図と座標出力をしないよう変更
- ・ 「ファイル」メニュー>「LandXML 出力」
作図線の出力を廃止
- ・ 「法」メニュー>「小段水平化」
水平法の断面は処理対象外に変更

修正

● GeoForm

- ・ 「地形」ボタン>「ベクトル作成」ボタン
POLYLINE で直前と同じ座標が重複して登録される
端点選択時、かけ離れた場所の座標を取得する
- ・ 「断面」ボタン>「路線(主要点)」ボタン
幅杭座標が正しく計算されない
- ・ 「出来形」ボタン>「土工」ボタン
「格子」にチェックを入れて出来形判定を行うと、天端領域のヒートマップが法面の規格値で配色される
- ・ 「出来形」ボタン>「土工」「浚渫工」ボタン
凡例表示の色が変更できない場合がある
- ・ 「ファイル」メニュー>「外部データ読込」
「カスタムテキスト」読み込み時、ファイルの内容によっては正しく読み込めない場合がある
「E57」読み込み時、ファイルの内容によっては強制終了する場合がある

● 横断計画

- ・ 「ファイル」メニュー>「Land XML 出力」
IP 点情報の X 座標が出力されない
路体情報出力時、LR コードが反対に出力される

● 横断図

- ・ 定規図土工線で片勾配以外の区間に勾配(%)表記指定があると、勾配値が片勾配値に置き換わる場合がある

以上